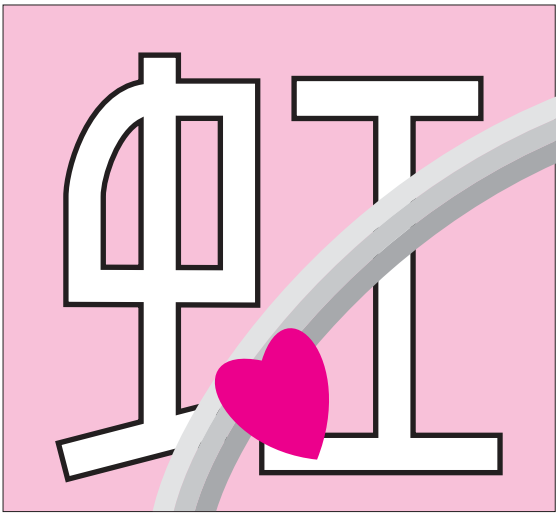




社会福祉協議会だより

平成27年11月15日



第133号

編集 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会広報編集委員会
住所 寝屋川市池田西町28-22市立総合センター内
電話 072-838-0400
FAX 072-838-0166
ホームページ <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

歳末たすけあい運動が始まります



12月1日から
15日まで

今年も12月1日(火)から15日(火)の間、歳末たすけあい運動を実施します。この運動は、自治会をはじめ民生委員・児童委員などで構成される校区福祉委員会、その他関係機関や団体の協力のもと、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、市

みんなであつたかい地域づくり

みなさまから協力いただいた募金は、次の通り配分する予定です。
▼校区福祉委員会では、孤立死や引きこもりを防ぐための見守り活動や住民同士のつながりをつくるための交流会、配食活動を行っています。そのような活動を推進するため配分します。
▼ひとりで暮らし高齢者で

今年も12月1日(火)から15日(火)の間、歳末たすけあい運動を実施します。この運動は、自治会をはじめ民生委員・児童委員などで構成される校区福祉委員会、その他関係機関や団体の協力のもと、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、市

平成27年度 街頭募金日程表		
時間	場所	
午前8時30分～9時30分	京阪寝屋川市駅	
	京阪香里園駅	
	京阪萱島駅	
午前10時～11時	京阪寝屋川市駅	
	京阪香里園駅	
	京阪萱島駅	
午後4時～5時	イオンモール寝屋川	
	アル・プラザ香里園	
	コーナン寝屋川昭栄店	
	イズミヤ東寝屋川店	
12月1日(火)	ビバモール寝屋川	

国松緑丘校区福祉委員会 委員長 佐部田貢一さん
「国松緑丘校区福祉委員会では、歳末たすけあい募金の配分金をひとりで暮らし高齢者の方や日頃お暮らし高齢者の会の支援世話をしてくださっているや、ひとりで暮らし高齢者を対象にした交流会の開催が食事を囲み、食事をしながら歓談をし、参加者にお礼を申し上げます。交流会では、ひとりで暮らし、ボランティアに

＜校区福祉委員会の声＞

歳末たすけあい募金の配分金は
どう使われているの？

組織する当事者組織への族の団体が取り組む地域支援や地域住民とのつながりを作る活動など、ひの深めたり、つながりを保つための活動がさらに充の増進に寄与する事業を推進するため配分します。他にもボランティア活動を実施しているボラン



ひとりで暮らし高齢者が食事を楽しんでいます

つては見守りの場にもなっています。参加された方からは、喜びの声が聞かれ、交流会を開催させていたただけることに感謝しております。

代表 朽見圭子さん
寝屋川市障害児者を守る親の会は会員数100



障害のある子ども達も楽しく過ごせるよう、さまざまな活動に取り組んでいます

＜福祉団体の声＞

るためにも、高齢者の居ていきたいと思ってお場所づくりなどに力を入ります」。

スマスパーティー「星のパーティー」で使わせていただいています。成人期の障害当事者が実行委員会を組んで、青年ボランティアクラブ「とつとつ」の支援を受けながら、毎年、どんなパーティーにするのか、内容について話し合い、決めてきます。



朽見代表

「歳末たすけあい募金は、障害者のためのクリスマスパーティーの集まり、教育・福祉にかかわる学習及び運動を行う当事者団体です。

人(平成27年10月1日現在)の団体で、障害をもつ子の親たちが集まり、教育・福祉にかかわる学習及び運動を行う当事者団体です。

「親の会は、主に知的障害のある子どもを持つ保護者の団体です。障害があっても、子どもたちが、いつも笑顔あふれる生活ができるように活動しています。

当日は、スタッフも入れて、100名くらいが集まり、ダンスパーティーを楽しんだり、ケーキを食べておしゃべりしたり、サンタに扮した実行委員から、プレゼントをもらったり、とても楽しい企画になっていきます。歳末たすけあい募金の配分金で、この楽しいパーティーを、毎年開くことができますことを、みなさまに感謝いたします。

相互の役割改めて理解

地域包括とCSW 密接な会議通じ関係深める

地域包括とCSWの

連携の今

△その6▽ 西北地域

高齢者の総合相談窓口ネットワーク会議の様子を合っています。の「地域包括支援センター」(以下・地域包括)と社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー(以下・CSW)と

地域包括ケア体制に向けて

連携会議は、毎月1回開催しており、2つの地域における連携の域包括で共同して企画し、ア・見守り体制構築に向けた一環で、社協・福祉施設・校区福祉委員会が協力して取り組んでいる。

今回の連携会議では10月14日に開催したネットワーク会議の打ち合わせを行いました。今回のネットワーク会議は、今後の地域包括ケア(友呂岐中学校区)と堀CSWに連携を

員



地域包括とCSWの連携会議を定期的に開催

市民活動講座

参加者募集

◎傾聴基礎講座

～よい聴き手になるための傾聴の大切なところを学ぶ～
講師：活動ネットワーク北河内傾聴ボランティア「14の耳」
代表・笹木 庸子氏

◎認知症について学ぶ

～認知症を正しく理解して、対応(接し方)を学ぶ～
講師：寝屋川市認知症予防普及委員会 ほほえみ隊
隊長・戸田 正己氏

日時：平成28年1月25日(月)午後1時～午後4時
場所：寝屋川市立保健福祉センター5階、多目的室
定員：30人(先着順)

参加費：無料

申し込み方法：往復はがきで(住所、氏名、電話番号、年齢記入)

*1月15日(金)必着

申し込み先：〒572-8533 寝屋川市池田西町28-22
寝屋川市社会福祉協議会内傾聴ボランティア「14の耳」あて

問い合わせ先：838-0400

主催：活動ネットワーク北河内傾聴ボランティア「14の耳」
寝屋川認知症予防普及委員会 ほほえみ隊

後援：寝屋川市社会福祉協議会

の理解やCSWとの関係も深まってきた

は、CSWの役割を改めて

「地域包括との連携を

通じて地域で専門職と地

域住民との関係性が深ま

り、支え合いができるよ

うになれたらと思います。

また、この連携会議を

通じて、西北地域での西

北まちかど福祉相談所の

出張相談会や、福祉委員

会主催の福祉まつりなど

にもCSWと地域包括職

員が出向いて一緒に相談

とで、西北地域の地域性

に対応などしています。

「まずは、ご相談くだ

いた延べ件数は、電話相

談が304件、窓口相談

談が366件となってい

ます。

「なかなか仕事が見

つからない」「相談でき

るが44件、生活費・家

賃等の支払いの相談が2

4月～6月に相談を受

けました。

多くの意見、アイディ

アが集まり、今後の高

齢者について地域

寝屋川市内に7人(コミ

ニティセンターエリア

ネットワーク

会議を通じて

10月14日のネットワー

ク会議は、西北コミュニ

ティセンターで行われ、

グループに分かれて見守

り体制について話し合

い、口である地域包括は、寝

います。

相談は無料

相談は無料、相談支

援員、就労支援員らが

話をお聴きします。

対象者は寝屋川市にお

住まいの方(原則、生活

保護受給者は除く)。

相談窓口に来れない場合

は、ご自宅等に相談支

援員等が訪問することが

できます。

【問い合わせ先】

生活支援課 生活困窮者

自立支援事業担当

☎012-2040

FAX0800-0106

メール seikatu-sh

urow@neyagawa-

shakyo.or.jp

まずはご相談ください

さまざまな悩み解決のお手伝い

生活困窮者自立支援事業

「まずは、ご相談くだ
いた延べ件数は、電話相
談が304件、窓口相談
談が366件となってい
ます。

「なかなか仕事が見
つからない」「相談でき
るが44件、生活費・家
賃等の支払いの相談が2
4月～6月に相談を受



9月にオープンした木田校区まちかど福祉相談所

気軽に相談を!

木田校区 まちかど福祉相談所

日 毎月第2水曜日
相談 午前10時～正午

出雲町公民館で開催

★寝屋川市第三中学校区地域包括支援センター
住所：寝屋川市松屋町20-33、グラントリヴィ
エール2階 ☎030-260009

★寝屋川市友呂岐中学校区地域包括支援センター
住所：寝屋川市石津東町20-22 ☎030-260009

